

厚生保険特別会計業務勘定 平成17年度特別会計財務書類の概要

貸借対照表

(単位:十億円)

	前年度	17年度	増減		前年度	17年度	増減
< 資産の部 >				< 負債の部 >			
現金・預金	1,532	1,544	12	特別保健福祉事業預り金	1,500	1,500	-
未収金等	107	110	2	退職給付引当金	128	125	△3
貸倒引当金	△52	△54	△1	その他	7	8	0
有形固定資産	64	54	△10				
国有財産 (公共用財産除く)	64	54	△10	負債合計	1,636	1,633	△2
物品	0	0	0	< 資産・負債差額の部 >			
その他	22	19	△2	資産・負債差額	38	41	3
資産合計	1,674	1,675	0	負債及び資産・負債差額合計	1,674	1,675	0

業務費用計算書

(単位:十億円)

	前年度	17年度	増減
人件費	75	75	△0
退職給付引当金等繰入額	16	14	△1
補助金等	8	7	△1
委託費等	104	1,116	1,012
他会計等への繰入	143	158	14
その他	179	165	△14
本年度業務費用合計	527	1,536	1,009

資産・負債差額増減計算書

(単位:十億円)

	前年度	17年度	増減
前年度末資産・負債差額	32	38	5
本年度業務費用合計(A)	△527	△1,536	△1,009
財源(B)	530	1,539	1,009
その他	2	0	△2
本年度末資産・負債差額	38	41	3

区分別収支計算書

(単位:十億円)

	前年度	17年度	増減
業務収支	31	42	11
財務収支	-	-	-
本年度収支 (業務収支+財務収支)	31	42	11
資金への繰入等	△24	△35	△10
資金残高等	1,526	1,538	12
本年度末現金・預金残高	1,532	1,544	12

平成17年度について

資産合計は5億円の増加、負債合計は28億円の減少、資産・負債差額は33億円の改善、業務費用は1兆90億円の増加となりました。資産合計の増加の主な要因は現金・預金の増121億円であります。負債合計の減少の主な要因は退職給付引当金の減33億円であります。資産・負債差額の改善の主な要因は、業務費用合計と財源の差額32億円であります。業務費用の増加の主な要因は、委託費等の増1兆185億円であります。

留意点

主な増減内容

- 貸借対照表
 - (資産)
 - 現金・預金…決算剰余金 +111億円
 - 有形固定資産…価格改定 △85億円
 - (負債)
 - 退職給付引当金 △33億円
- 業務費用計算書
 - 委託費等…年金資金運用基金交付金 +1兆185億円
- 資産・負債差額増減計算書
 - 本年度業務費用合計と財源合計との差額 +32億円
(上記(A) + (B)により算出)
⇒企業会計の「当期純利益」に相当
- 区分別収支計算書
 - 業務収支…年金勘定からの受入 +4兆495億円
 - 年金資金運用基金交付金 △1兆185億円
 - 年金資金運用基金出資金 △3兆508億円